平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月８日

上 場 会 社 名　塩水港精糖株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2112　　ＵＲＬ　http://www.ensuiko.co.jp
代　　表　　者　（役職名）取締役社長　（氏名）浅倉　三男
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役管理グループ長（氏名）安戸　久仁彦　(TEL)(03)3249-2381

四半期報告書提出予定日　平成25年８月８日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	7,077	△8.9	185	200.3	174	136.6	96	368.7
25年３月期第１四半期	7,771	△5.2	61	△74.8	73	△81.1	20	△93.1

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　184百万円（－%）　25年３月期第１四半期△8百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	3.60	―
25年３月期第１四半期	0.77	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	25,518	6,362	24.9
25年３月期	26,194	6,313	24.1

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　6,362百万円　25年３月期　6,313百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	―	―	5.00	5.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		―	―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	13,600	△6.7	330	13.7	200	△19.9	100	△17.7	3.72
通期	27,700	△2.0	700	△18.9	450	7.3	200	173.0	7.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　－　社　（社名）　－　　、　除外　　－　社　（社名）　－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年３月期１Ｑ	35,000,000株	25年３月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	8,140,074株	25年３月期	8,140,074株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年３月期１Ｑ	26,859,926株	25年３月期１Ｑ	26,860,399株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（１） 経営成績に関する説明…… 2
（２） 財政状態に関する説明…… 3
（３） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明…… 4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 4
（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4

３．四半期連結財務諸表…… 5
（１） 四半期連結貸借対照表…… 5
（２） 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
（３） 四半期連結財務諸表に関する注記事項…… 9
（継続企業の前提に関する注記）…… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）…… 9
（セグメント情報等）……10

1．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明〔当期の経営成績〕

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務問題等の影響が懸念されるものの、デフレからの早期脱却に向けた政府の経済・財政政策や金融政策効果による円安進行などに伴い、エネルギーコストの増加等がありましたが、輸出企業を中心として企業収益が改善し、また株価が上昇するなど、個人消費・景気ともに緩やかに持ち直しつつあります。

当第１四半期連結累計期間の海外原糖市況は、期初17.69セント（ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、1ポンド当たり。）以下同じ。）で始まりましたが、投機筋による買戻しへの期待感から徐々に値を戻し、４月中旬には18.03セントまで上昇しました。その後は主要生産国ブラジルの天候が順調であったことから反落に転じ、さらにブラジルレアルの下落等の材料もあり、６月下旬には16.02セントの安値をつけ、結局16.38セントで当第１四半期連結累計期間を終了しました。

当第１四半期連結累計期間の国内市中価格は、東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg 当たり。）は期初182～183円で始まり、同一水準のまま当第１四半期連結累計期間を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めて参りました。

その結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

当第１四半期累計期間	金額（百万円）	前年同四半期比
売上高	7,077	8.9%減
営業利益	185	200.3%増
経常利益	174	136.6%増
四半期純利益	96	368.7%増

また、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第１四半期累計期間	売上高（百万円）	前年同四半期比	セグメント利益（百万円）	前年同四半期比
砂糖事業	6,530	9.0%減	411	42.3%増
バイオ事業	362	10.9%減	42	34.0%減
不動産賃貸事業	210	4.2%増	5	57.9%減
調整	△26	―	△273	―
連結損益計算書計上額	7,077	8.9%減	185	200.3%増

（注）セグメント利益の調整額△273百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

①砂糖事業

・国内精糖

販売数量につきましては、４～６月は天候に恵まれ業務用を中心に順調な荷動きとなり、前年同四半期を上回りました。売上高につきましては、販売単価は低下しましたが販売数量の増加により前年同四半期並の実績となりました。

・その他糖類

異性化糖などの国内販売については、国内精糖と同様に堅調な荷動きとなりましたが、為替リスク等の軽減を図るため、粗糖の三国間貿易等の海外事業を縮小した結果、売上高は減少いたしました。

②バイオ事業

・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、幅広い利用者層に向けて商品価値の啓蒙と、正しい使い方などの理解普及に努めるとともに、量販店を中心に店頭販促施策に取り組み一定の成果を上げました。

業務用は、新規採用に向けた営業に努めました。

・サイクロデキストリン（ＣＤと略称）

飲料、健康食品などの食品分野のほか、非食品分野への拡販に努めましたが、練り製品向けと非食品分野の既存ユーザー向けの販売数量の減少を余儀なくされました。

以上から、当第１四半期連結累計期間は、ＣＤ部門における販売数量が減少したことにより、 バイオ事業全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューＥＳＲビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、継続して第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の工業的製造法を確立し、その後、グルカル酸の製法技術に関する応用研究に取り組んでいます。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き共同研究開発を進め、本年４月に研究成果を米国がん学会において発表しました。

また、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、低コスト・大量生産技術による製法の実用性評価を行いました。今後、商品化に向け鋭意取り組んで参ります。

バイオ製品（オリゴ糖、ＣＤなど）の研究開発につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の開発と探索に努めて参ります。

(2) 財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ676百万円減少し、25,518百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ725百万円減少し19,155百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、6,362百万円となりました。これは主に、上場有価証券の時価評価額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結会計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、当第２四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成25年５月９日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,414	776
受取手形及び売掛金	1,879	2,107
商品及び製品	971	1,148
仕掛品	256	182
原材料及び貯蔵品	1,249	951
未収還付法人税等	－	8
繰延税金資産	65	64
その他	1,127	1,115
流動資産合計	6,964	6,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,582	9,592
減価償却累計額	△5,062	△5,129
建物及び構築物（純額）	4,520	4,463
機械装置及び運搬具	11,166	11,188
減価償却累計額	△9,405	△9,440
機械装置及び運搬具（純額）	1,761	1,747
工具、器具及び備品	398	399
減価償却累計額	△349	△354
工具、器具及び備品（純額）	49	45
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	14	23
有形固定資産合計	11,580	11,514
無形固定資産		
ソフトウエア	62	85
ソフトウエア仮勘定	32	－
その他	7	6
無形固定資産合計	102	92
投資その他の資産		
投資有価証券	5,147	5,218
長期貸付金	1,335	1,346
繰延税金資産	982	915
その他	109	106
貸倒引当金	△27	△28
投資その他の資産合計	7,546	7,558
固定資産合計	19,230	19,164
資産合計	26,194	25,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	825
短期借入金	9,181	9,858
未払法人税等	54	50
未払消費税等	56	154
賞与引当金	79	39
その他	1,027	1,087
流動負債合計	11,780	12,015
固定負債		
長期借入金	6,411	5,529
退職給付引当金	1,144	1,113
その他	544	496
固定負債合計	8,099	7,139
負債合計	19,880	19,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,798	7,759
自己株式	△3,117	△3,117
株主資本合計	6,697	6,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△367	△284
繰延ヘッジ損益	△16	△11
その他の包括利益累計額合計	△384	△296
純資産合計	6,313	6,362
負債純資産合計	26,194	25,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位:百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	7,771	7,077
売上原価	6,767	5,989
売上総利益	1,004	1,088
販売費及び一般管理費	942	902
営業利益	61	185
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	53	53
デリバティブ利益	20	－
雑収入	7	5
営業外収益合計	92	69
営業外費用		
支払利息	36	35
持分法による投資損失	27	40
支払手数料	16	1
雑損失	0	2
営業外費用合計	80	80
経常利益	73	174
特別利益		
投資有価証券売却益	9	2
特別利益合計	9	2
特別損失		
投資有価証券売却損	3	－
投資有価証券評価損	15	－
その他	3	－
特別損失合計	23	－
税金等調整前四半期純利益	59	176
法人税、住民税及び事業税	24	52
法人税等調整額	14	27
法人税等合計	39	80
少数株主損益調整前四半期純利益	20	96
四半期純利益	20	96

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位:百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	20	96
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	68
繰延ヘッジ損益	△5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	13
その他の包括利益合計	△28	87
四半期包括利益	△8	184
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8	184
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,173	396	201	7,771	－	7,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	10	－	10	△10	－
計	7,174	406	201	7,782	△10	7,771
セグメント利益	288	64	12	365	△303	61

（注）１．セグメント利益の調整額△303百万円には、セグメント間取引消去百△0万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△303百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,525	349	201	7,077	－	7,077
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	12	8	26	△26	－
計	6,530	362	210	7,103	△26	7,077
セグメント利益	411	42	5	458	△273	185

（注）１．セグメント利益の調整額△273百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。